



三重小だより

長崎市立三重小学校
令和5年7月19日 第6号
文責 校長 飯島 由紀

学校教育目標 ～ 自ら学び 考え 行動する ～

□明日は1学期終業式、大変お世話になりました

新型コロナウイルスの第5類への引き下げを受け、日常を取り戻した学校生活。1学期は、歓迎遠足、運動会、教育週間中の土曜参観と100人パトロールなど、ほぼ全ての行事をコロナ前の状態に戻して実施することができました。来校者や参加者の制限もなくしたため、多くの方に子供たちの頑張っている姿をご覧いただけたのではないかと思います。保護者、地域の皆様の温かいご支援・ご協力のおかげで、子供たちは大きく成長し、充実した1学期を送ることができましたことを心より感謝申し上げます。ありがとうございました。21日から夏休みが始まります。引き続き、子供たちの見守りをよろしく願いいたします。



2年生が見事なスイカを収穫しました

□夏休みにおける生成AIの活用と情報モラル教育について

先日、文部科学省より「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドラインについて」という通知がありました。生成AIが急速に普及しつつある中、国としての一定の考えが示されています。詳細については、学校から別に文書を出していますが、文部科学省の方針に基づき、現段階では、夏休みの宿題・読書感想文などへの生成AIの活用は控えていただきますようお願いいたします。

一方、クローズドブックの利用により、子供たちがネット上の情報に触れる機会が圧倒的に増えています。長崎県では、犯罪少年の検挙人員は年々減少傾向にあります。スマートフォンやSNS利用に起因する被害児童数は年々増加傾向にあり、情報に対する子供たちの意識を早急に高めていく必要があります。

学校では「SNSノート・ながさき」を活用した情報モラル教育を段階的に行っています。以下のURLまたは右上のQRコードからご覧いただけますので、夏休みを利用して、ご家庭でも

ぜひ取り組んでみてください。2学期には外部講師を招いて、情報モラルに関する講演会も行う予定です。 https://www.edu-c.news.ed.jp/?page_id=292 (長崎県教育センターHP)



QRコード

□「ふるさと塾」の前期の活動が終了しました

三重地区の伝統行事の継承に取り組んでいる「ふるさと塾」の今年度前期の活動が、7月13日(木)に終了しました。今回は「檜山の盆踊り」について、地域のボランティアの方々から熱心な指導を受け、5月の運動会で、5・6年生がその成果を披露しました。6年生は前期で卒業し、9月からは新たに4年生が活動に加わります。これからも、地域とともに「ふるさと三重を愛する子ども」を育てていきたいと思っております。

